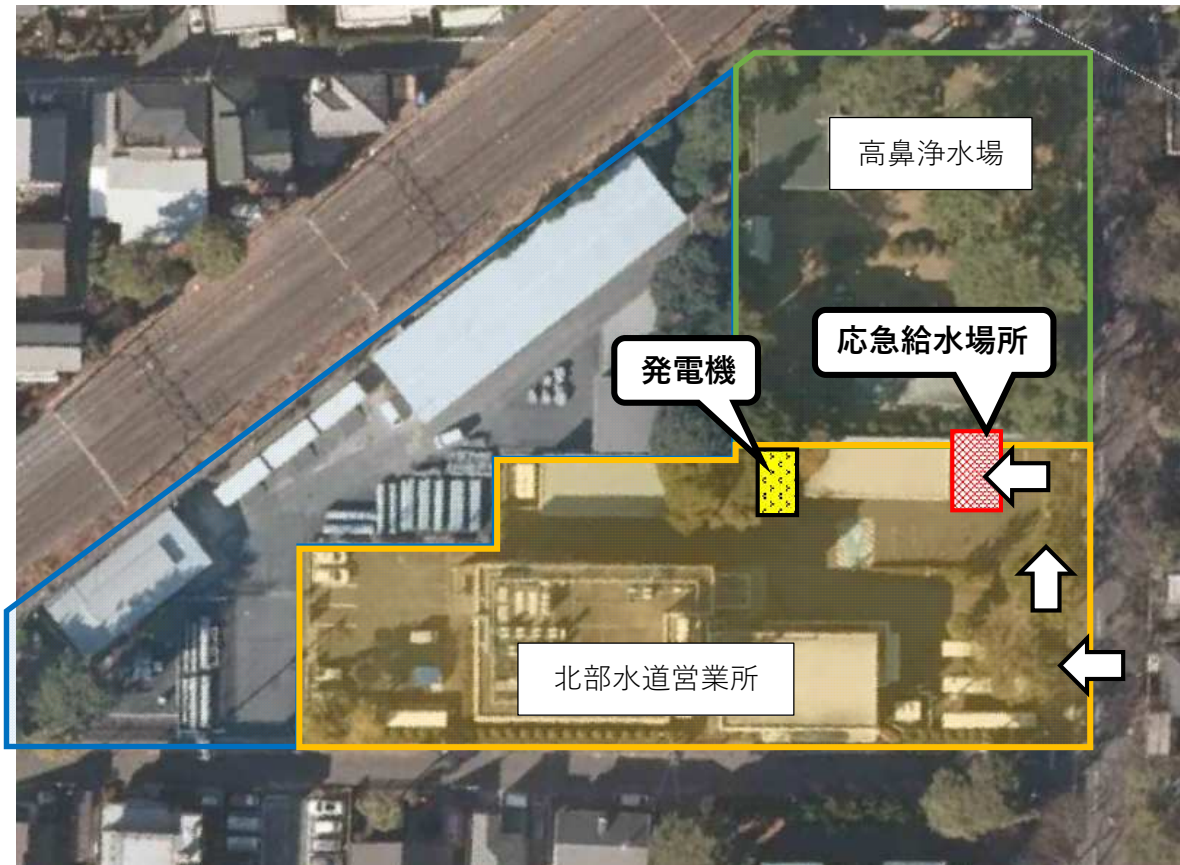


高鼻浄水場応急給水施設開設方法（住民用給水栓）



① 住民用給水栓のフェンス扉（ダイヤル式南京錠）を開錠して入場する



入口・出口それぞれのダイヤル錠を開錠し、フェンス扉を開く

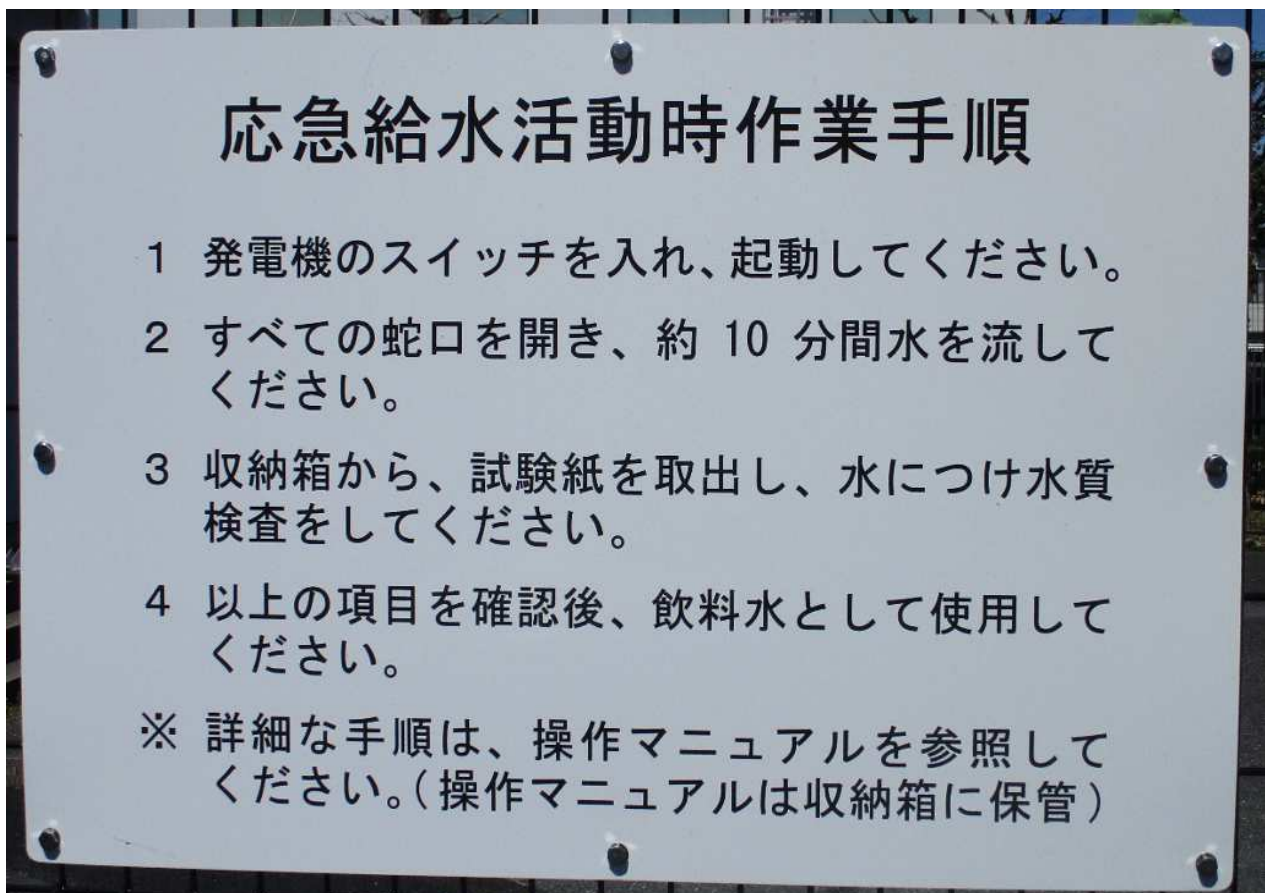


出入口の南京錠を開錠する



※防犯上、開錠番号を変更する場合があります
※開錠番号は近隣自治会に公開しています

② 作業手順書を確認する



場内に作業手順書の案内看板があります

③ 自家発電機を稼働させる ※別添「自家発電機の稼働方法」を参照

ダイヤル式南京錠(番号同じ)



別添

自家発電機の稼働方法

A 発電機の始動

【重要事項】
第一手続を誤ると、人身の安全が確保できず、稼働できず、故障の原因となります。

1. ①のしゃ断器が「OFF」になっていることを確認する。

2. ②のスタータースイッチを「始動」に動かし、エンジンを始動する。

(スタータースイッチは、操作室内にあります。)

※ スイッチは、稼働後に手を離すと「停止」位置に戻ります。

【無負荷で始動しづらいときの対処法】

- ・スタータースイッチを手動位置に戻して再押 (約1.5秒)
- ・手動ランプが点灯したらスタータースイッチを「始動」に動かしてエンジンをかける。

別添

※別添 (マニュアル) は収納箱に保管されています

※ 自家発電機は一度稼働させれば、以降に来場された方の操作は不要です

④ すべての蛇口を開き **約10分間** 水を流して排水する（管内の停滞水を排水）

給水栓の近くにある **収納箱** から **蛇口用ホース** を取り出す



収納箱

収納箱の中にホースが入っています

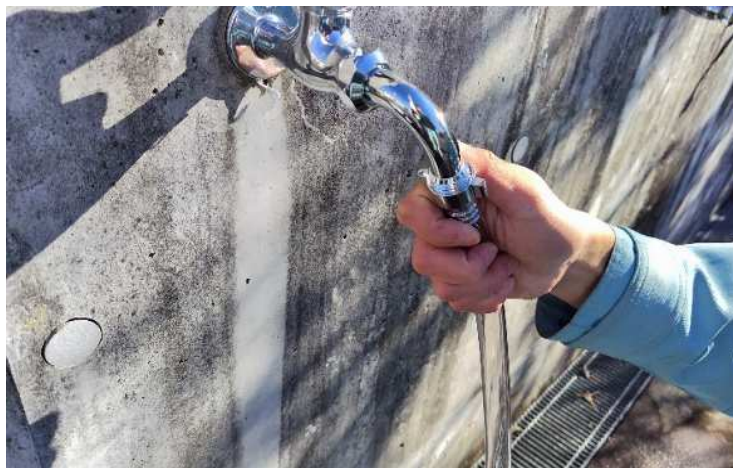
※ 蛇口用ホースの劣化防止のため、収納箱に保管しています。

※ ポリタンクは収納箱の重しです。中の水は飲めません

蛇口用ホース にパッキンが付いていることを確認し、取り付ける



パッキン: 黒色のゴム輪



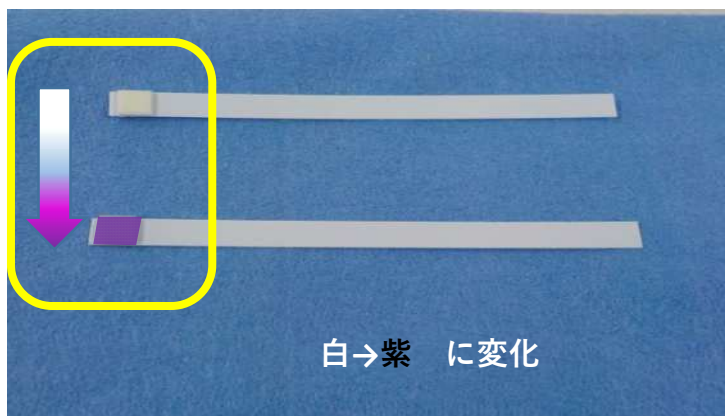
ホースの取付け後に、蛇口を開き、**約10分間** 排水する

⑤ 簡易水質検査（残留塩素測定）を行う

給水栓の近くにある **収納箱** から **試験紙** を取り出す



試験紙を1本取出し、蛇口から流れる **水に数秒間** 当てます



試験紙の色が 「白」 から **「紫」** に変化することを確認します ※薄紫でもOK

⑥ 給水開始

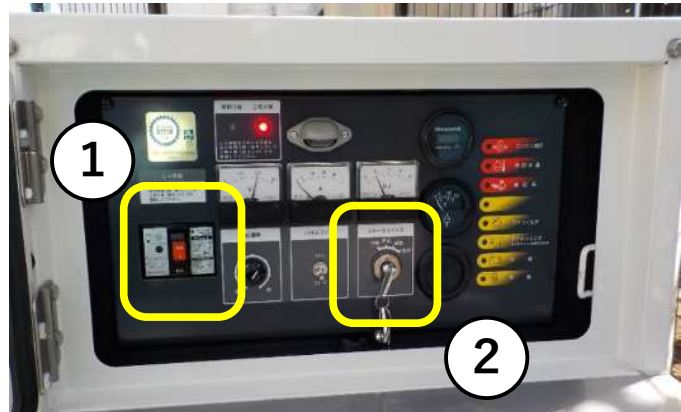
持参した入れ物に給水し、持ち帰ります

水道総務課 広報・防災係
TEL 048-714-3182

自家発電機の稼働方法（高鼻浄水場）

1 発電機の稼働（始動）

1-1 操作パネルを開く



発電機正面の取手部を引いて、操作パネルを開きます ※①②箇所を確認

1-2 ①の遮断器が「OFF」であることを確認する ※「ON」の場合は「OFF」にする



1-3 ②のスタータースイッチ（鍵）を「始動」方向に回して、発電機を始動する



（鍵は操作パネル内に置いてあります）

※ スタータースイッチ（鍵）は、回した後に手を離すと「運転」の位置に戻ります

★ 低温時の始動方法



スタータスイッチ（鍵）を「**予熱**」方向に回して **15秒間保持**する ※予熱ランプが「**点灯**」

予熱ランプの「消灯」後に、スタータスイッチ（鍵）を「始動」方向に回して、発電機を始動する

1-4 エンジン始動後 **5分間** 暖気運転を行う ※5分間は何もしないで放っておく

1-5 ①の遮断器を「**ON**」にする



注 「調整ノブ」や「調整つまみ」には触らない

1-6 発電機の始動完了 ※蛇口から水が出ます

2 発電機の停止 ※始動方法と逆の手順で操作する

2-1 ①の遮断器を「OFF」にする



「ON」から「OFF」へ

2-2 このままの状態を 5分間 冷却運転を行う

2-3 ②のスタータスイッチ（鍵）を「停止」方向に回して、発電機を停止する



2-4 発電機の停止完了